



春先の蜂群の衛生管理を徹底しましょう



梅の花も咲き、ミツバチが活動を始める時期になりました。越冬後、初めての内検（巣箱内のミツバチの健康チェック）を実施している方も多いと思います。春の本格的な活動時期に向けて、衛生管理の徹底をお願いします。

①疾病対策

腐蛆病、ダニに対する予防対策として、投薬法があります。現在日本でミツバチに対して承認されている動物用医薬品は次のとおりです。医薬品を使用する場合は、適切に使用して病気を予防しましょう。

疾病名	原因	主成分	使用期間	使用禁止期間
アメリカ腐蛆病	細菌	ミロサマイシン	7日間	投与中・投与後14日間は、食用のハチミツ等を採取することができない。
バロア病	ダニ	フルバリネート	6週間以内	食用のハチミツ等を採取している期間は使用できない。
		アミトラズ		

★動物用医薬品を使用する際の注意★

ハチミツは直接人の口に入る食品です。ハチミツ中に動物用医薬品が含まれないよう使用説明書を確認し、使用禁止期間、使用上の注意を守ってご使用下さい。また、医薬品を使用したら使用記録の帳簿をつけて保管しましょう。

【帳簿の記載項目一覧】

- ①使用年月日 ②使用場所 ③医薬品の名称 ④対象群数・管理番号
⑤用法・用量 ⑥出荷可能年月日



②衛生管理

アメリカ腐蛆病の原因菌 (*Paenibacillus larvae*) は、芽胞を形成する細菌です。通常の細菌に比べ、熱・乾燥・消毒薬に対する強い抵抗性を示すため、以下の方法により消毒を行います。

- ①火炎消毒:ガスバーナー等で焼く
- ②消毒薬による消毒:
 - ・グルタルアルデヒド
 - ・次亜塩素酸ナトリウム

★消毒を実施する際の注意★

- ・消毒薬は、蜜蝋等の汚れ(有機物)を取り除いてから使用してください。
- ・消毒薬は、各商品の使用方法に則って使用して下さい。
- ・消毒後は、水洗を十分に行ってください。

※平成27年度ミツバチ疾病発生状況

今年度は腐蛆病の発生はありませんでしたが、アカリダニ症の発生がありました。

アカリダニ症について

- ・アカリダニ (*Acarapis woodi*) の寄生を原因とする蜜蜂の寄生虫病で、家畜伝染病予防法に基づく届出伝染病に指定されています。
- ・国内では平成22年に長野県で発生し、その後各地で発生が確認されています。山梨県でも平成27年に、飼育されている日本蜜蜂においてアカリダニ症が2件発生しました。

【アカリダニ】

- ・体長150μm前後で、蜜蜂の気管内に寄生します。

【症状】

- ・冬～春での発症が多く、軽度では無症状、重度では飛翔力低下、Kウイング(後翅が閉じずに飛び出した状態)、徘徊、死亡がみられます。
- ・国内での発生報告は日本蜜蜂のみですが、海外では主に西洋蜜蜂で報告されています。



▲気管に寄生するアカリダニ



▲Kウイング

出典:ミツバチに寄生するアカリダニ

※ミツバチに異変等があれば、当所まで御連絡ください。

山梨県西部家畜保健衛生所

韮崎市本町3丁目5-24

TEL:0551-22-0771

FAX:0551-22-6728